



学校だより 1月号

横浜市立日吉南小学校

令和5年1月13日

明けまして おめでとうございます

校長 山中 真紀子

穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も皆様にとりまして、明るく健康に恵まれた年となりますように心よりお祈りしております。

卯年は、芽を出した植物が成長し、茎や葉が目に見えて大きく成長する年とされています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍する象徴でもあります。新しい年の幕開けに際し、子どもたちが夢や目標をもって生き生きと活動し、飛躍できるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。今年もよろしくお願いいたします。

今年のお正月は・・・

我が家はうさぎを飼っています。卯年を口実にいつも以上に甘やかしてしまったお正月でした。生き物を飼ったことがある多くの方が経験をしていると思いますが、「生き物」「ペット」ではなく家族の一員なのです。思春期を迎え、難しい年ごろの息子や娘も彼（うさぎ）の前では素直に思いを表現していました。我が家の末っ子として家族の仲間入りした彼（うさぎ）も、うさぎ年齢では高齢期となり、私の年齢をはるかに超えてしまいました。我が家に、今も温かさや優しさをもたらしてくれる、なくてはならない存在となっています。家のリビングで無防備にくつろぐ彼（うさぎ）の姿を見てゆったりとした平和な時間を感じました。

私は子どもの頃、藤沢市に住んでいたため、遊行寺坂上での箱根駅伝応援は、正月の家族のイベントとなっていました。テレビの中継を見ながら、今だというタイミングで家を出発し、旗を振りながら、選手や監督の姿や声を楽しみました。臍負のチームがあったわけではありませんが、新しい年への力をもらいました。走ることが好きでなかった私でさえも、走ってみよう、運動してみようという気にさせてしまう魅力的な2日間でした。今年是我が子と変わらない年の選手たちを、母親の気持ちで応援しました。テレビの前で、コロナ禍での親元を離れての学生生活、大きなものを背負う選手の姿、走ることのできなかつた学生たちを思い、目が離せませんでした。また、いくつもの箱根駅伝名言を心に刻みました。

ご家庭でのそれぞれの冬休み、お正月を過ごし、いよいよ学校が始まりました。長い休み明けは、子どもたちの登校を担任は気にかけて、職員室での情報共有が行われます。お子様の様子等気になることがありましたら、遠慮せずに学校へお知らせください。子どもたちにとって、家がくつろげ、リラックスできる場であることが一番です。子どもたちが、「困ったな、つらいな、どうしよう」と思ったとき、誰かの顔が浮かび、「話してみよう、伝えてみよう」と思えることが大切です。それが担任や学校関係者であれば学校としてはうれしい限りですが、そうでない場合が多いのです。やはり、ご家庭の力にはかないません。学校だけでは難しいことが多いのが実際のところですが、この新しい年も、ご家庭や地域と連携させていただき、共に子どもの指導、支援をしていきたいと思っております。「ともに輝け 笑顔いっぱい ふれあいいっぱい ひよみなっ子」へ向けて、どうぞよろしくお願いいたします。

